

編集後記

今月の特集テーマは「夏に多い皮膚病」であるが、昔から皮膚科医は夏になると悪化する皮膚疾患が多くて猫の手も借りたいほど忙しくなり、それとは逆に「柿が赤くなると皮膚科医が青くなる」(と、新米のころ先輩から教わった)などといわれたほど、涼しい気候になると皮膚疾患が治まり暇になる傾向があったように思う。つまり皮膚科医の仕事には四季が感じられたのである。ところが昨今の日本の気象はどうであろう!? とくに今年は2～3月でも汗ばむような陽気の日もあったかと思うと、桜が咲いてから雪やみぞれが降り凍えるような日があったり、1週間の中で最高気温が10℃以上も乱高下、そして5月のうちに真夏の最高気温を抜き去るほどの前代未聞の暑さ記録を更新したり。本当に日本の穏やかな四季はいったいどこへ行ってしまったのだろうかと思う。このような気候が続くと、「夏に悪化する皮膚病」なども、今までとまったく変わってしまうかもしれない。皮膚科の世界でも「四季の季節感」なるものがなくなってしまうのではないかと危惧される。また、気温だけではなく地域による疾患の違いについてもそうであろう。蚊やマダニなど、昆虫の世界もこの気候の変化にしたがって棲息地が変化しつつあるようなので、それによってひきおこされる皮膚疾患も変わる可能性がある。気候の変化だけでなく、海外からの旅行者の増加により、輸入感染症も広がってくることであろう。日本には定着していないはずのデング熱やはしかの流行もその一つといえる。今後、気候の変化や人の動きの変化、さらにはワクチンなど予防施策による疾患の変化などにも注意していく必要がある。“いままでこの地域ではみたこともない”“この季節なのにこの病変?”と思われるような、これまでの常識とは異なる不思議な現象を感じられたら、まずは是非「声」の欄に投稿していただければ幸いである。一度、「時代による皮膚疾患の変遷」のような特集を組んでみてもよいかもしれない。(N.B.)

次号予告

Vol.41, No.8

特集 膿疱をきたす疾患(仮)

- ◆editorial 馬場 直子
 ◆topics 掌跖膿疱症の治療の進歩とアンメットニーズ 山本 俊幸
 ◆展望 本邦における掌跖膿疱症患者の併存疾患について 小林 里実
 ◆臨床例
 Erosive pustular dermatosis of the scalp 安藝 良一, 天羽 康之
 非定型疹として膿疱を伴った成人Still病 加藤 恒平ほか
 汎発性膿疱性乾癬との鑑別を要した小児に生じた角層下膿疱症 花村 拓哉ほか
 生物学的製剤による治療中に水疱性類天疱瘡を続発した膿疱性乾癬 金子 ゆきほか
 CARD14遺伝子多型を有する小児汎発性膿疱性乾癬 高向 梨沙ほか
 急性汎発性膿疱性細菌疹様の掌跖外膿疱が先行した掌跖膿疱症性骨関節炎 佐藤 崇興ほか
 BCG接種後に生じた壊疽性丘疹状結核疹 森下ナオミ, 津嶋 友央
 多形紅斑様の皮疹と表皮内膿疱を示した非典型手足口病 川喜田遥香ほか
 Capillary leak syndromeの併発を疑った膿疱性乾癬 地村 望ほか
 混合性結合組織病としての経過観察中に全身性エリテマトーデスとSweet病を発症した例 池上 徹栄ほか
 インフリキシマブからウスステキヌマブ変更後にも逆説的副反応として膿疱性乾癬が出現した例 竹内 千尋ほか
 Erosive pustular dermatosis of the scalp 鈴木 緑ほか
 アダリムマブ投与によるparadoxical reactionを生じた例 渡邊 恒輔ほか
 急性汎発性発疹性細菌疹 渡邊 恒輔ほか
 ◆皮心伝心 川上 民裕
 ◆私の視点 秀 道広
 ◆学会ハイライト 第35回日本臨床皮膚科医会総会・学術大会を終えて 町野 博
 ◆診察室の四季 斉藤 隆三
 ◆皮膚科のトリビア 浅井 俊弥
 ◆声(質疑・応答を歓迎します)

皮膚病診療 Vol. 41, No.7(2019)

令和元年 6 月25日印刷
 令和元年 7 月 1 日発行
 1 部定価2,800円(本体) + 税 送料別
 年ぎめ予約購読料39,000円(本体) + 税

発売所／丸善出版株式会社
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階
 TEL 03-3512-3256(代表・受注センター) FAX 03-3512-3270

編集人 斉藤 隆三
 発行人 山田 淳史
 発行所 株式会社協和企画
 〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1-3
 ワールドインポートマートビル8階
 電話：03-5979-1400(代)
 振替口座：00190-0-36746
 印刷所 株式会社 エイチケイ グラフィックス

ご購読ご希望の方は直接弊社もしくは書店までお申し込みください。

© 株式会社 協和企画 2019年

・JCOPY <(社) 出版者著作権管理機構 委託出版物>

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社) 出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。